

令和7年11月26日（水）
GIGA StuDX推進チーム プチ学習会

すぐ使える！情報モラル教育サイト活用術

※サイト内の掲載情報は、令和7年11月26日（水）現在のものです。

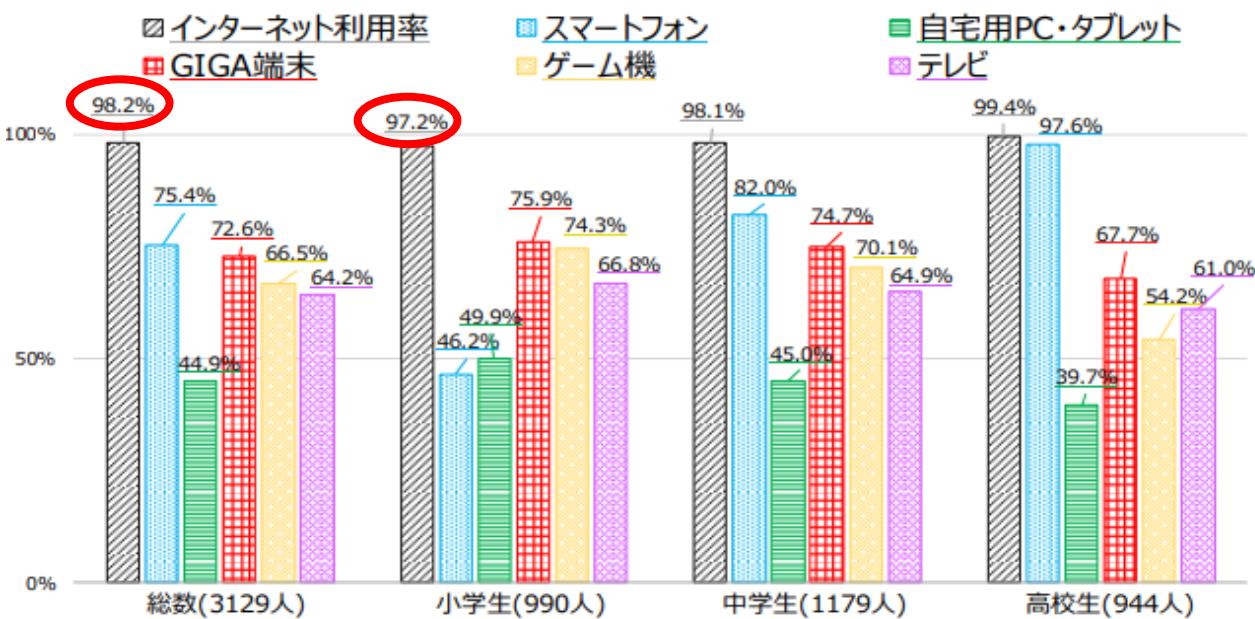
10歳以上の小学生でも、97.2%がインターネットを利用

概要1 青少年のインターネットの利用状況 - 1 (インターネット利用率)

回答した青少年全員をベースに集計

- 青少年の98.2%が、インターネットを利用していると回答。
- インターネットを利用する機器は、スマートフォン (75.4%)、学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等 (GIGA端末) (72.6%)、ゲーム機 (66.5%)、テレビ (地上波・BS等は含まない) (64.2%)、自宅用のパソコンやタブレット等 (44.9%) と続く。
- 学校種別でみると、小学生 (10歳以上) の97.2%、中学生の98.1%、高校生の99.4%がインターネットを利用していると回答。

インターネット利用率 (機器・学校種別)



○インターネットを利用している機器 (3129人)

スマートフォン	75.4 %
契約していないスマートフォン	15.2 %
携帯電話	6.3 %
自宅用のパソコンやタブレット等	44.9 %
学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等(GIGA端末)	72.6 %
ゲーム機	66.5 %
テレビ (地上波、BS等は含まない)	64.2 %

(注1) 「インターネット利用率」及び「インターネットを利用している機器」は、回答した青少年全員をベースに集計。

(注2) 令和3年度調査から「インターネットを利用している機器」を変更。令和2年度までは、次の15機器。「スマートフォン、格安スマートフォン、子供向けスマートフォン、契約切れスマートフォン、携帯電話、子供向け携帯電話、ノートパソコン、デスクトップパソコン、タブレット、学習用タブレット、子供向け娛樂用タブレット、携帯音楽プレイヤー、携帯ゲーム機、据置型ゲーム機、インターネット接続テレビ」(令和3年度からテレビの例を一部変更修正)

※ (人) の数字は回答者数を示す。(青少年 Q1-1、Q1-2)

本日の内容

主に教員向け

情報モラル教育
ポータルサイト

主に児童生徒向け

じょうほう がくしゅう
情報モラル学習サイト

じょうす かつよう
～スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな?～

本日の内容

情報モラル教育 ポータルサイト

学習コンテンツ・啓発資料

授業実践・活用事例

教員向け動画コンテンツ

情報モラル教育関連サイト

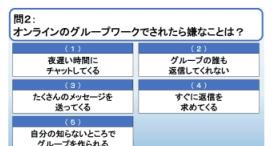
タブレットを初めて使う



教材

情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材②）端末を用いて家庭学習を行う（小学1年生～小学4年生）

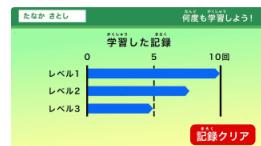
掲載元：文部科学省



教材

情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材②）タブレットを活用した学習活動について考えよう（小5～中1）

掲載元：文部科学省



教材

情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材⑨）学習用タブレットの上手な使い方（小学1年生～小学4年生）

掲載元：文部科学省

事例一覧



情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材⑨）学習用タブレットの上手な使い方（小学1年生～小学4年生）

掲載元：文部科学省



生成AIの結果をそのまま使ってよいのかな
校種・学年：中学校・高等学校



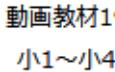
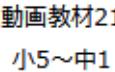
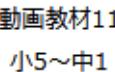
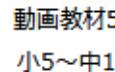
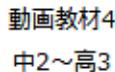
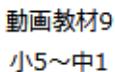
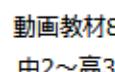
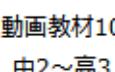
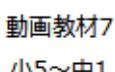
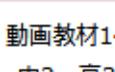
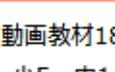
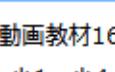
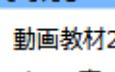
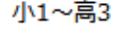
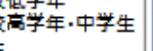
生成AIにどんな情報でもよいのか
校種・学年：中学校・高等学校

生成AIを活用する

- 授業に取り入れることのできる短い動画教材を多数掲載
- 教材によっては、一部、指導案やワークシートも掲載
児童生徒の実態に合った授業の組み立てが可能

情報モラルe-learning コンテンツ一覧（令和7年時点）

情報モラルに関する喫緊の課題に幅広く対応しており、文部科学省がこれまで作成した教材と関連しています。子供たちのスマホ・タブレットやネットの活用場面に応じて学習することが可能です。各コンテンツには 推奨学年を設定しています（小1～小4 小5～中1 中2～高3など）。

タブレットを初めて使う	インターネットを活用する	情報を発信する	オンラインで交流する	作品を作る	マナーを守って使う	健康に気を付けて使う	SNSなどを使う	情報を確かめる	生成AIを活用する
									
									
									
									
									

■教員の皆様に活用いただく方法

「情報モラルe-learningコンテンツ」は、子供たちが家庭学習などにおいて、情報モラルについて自ら学習する際に役立てることを想定し、制作しております。1コンテンツの学習時間は約5～10分となっており、いつでもどこでも、パソコン・タブレット・スマートフォンなどから学習が可能です。

本コンテンツは、授業の中などで活用いただくことも可能です。情報モラルに関する授業の導入・まとめの場面や、予習・復習において活用いただくとの合わせて、コンテンツを学習してみてどのように感じたか、子供たち同士で話し合う機会や、先生から説明する機会を設けることで、より深い学びに繋がります。

文部科学省が作成した、動画教材や手引書（下記ホームページ参照）と合わせて、是非ご活用ください。

※「情報モラル教育の充実」 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1416322.htm



本日の内容

じょうほう がくしゅう 情報モラル学習サイト

～スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな？～



タブレットを初めて使う

気になる問題に挑戦してみよう！(各コンテンツの学習時間:約5分～10分)

01 学習用タブレットを上手に使う



推奨：小4～小4

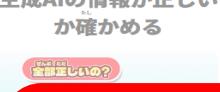
この問題に挑戦！ ➡



生成AIを活用する

気になる問題に挑戦してみよう！(各コンテンツの学習時間:約5分～10分)

01 生成AIの情報が正しいか確かめる



この問題に挑戦！ ➡

02 学習用タブレットを学習活動に使う



推奨：小5～中1

この問題に挑戦！ ➡

03 パスワードを管理する



推奨：小5～中1

この問題に挑戦！ ➡

01 学習用タブレットを上手に使う

■ 問題1



タブレットを使うときに、良くない使い方だと思うのはどれですか。
当てはまるものを、1つ選んでください。

① 他の人に自分のIDやパスワードを教える

② いろいろなことを調べたりまとめたりする

③ タブレットを決められた場所にかたづける

- ・児童生徒が問題を解きながら情報モラルを学べる内容を多数掲載
- ・「情報モラル教育ポータルサイト」の学習動画と問題が連動

情報モラル教育サイトの掲載内容を知る

情報モラル教育 ポータルサイト

学習指導要領では「情報活用能力」を「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け、その育成を図るために「各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図る」となっています。この情報活用能力の重要な要素である情報モラルは「情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度」であり、具体的には、情報発信による他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつことや、犯罪被害を含む危険の回避など情報を正しく安全に利用できること、コンピュータなどの情報機器の使用による健康との関わりを理解することなど様々な事柄を含んでいます。将来の新たな機器やサービス、あるいは危険の出現にも適切に対応できるようにすることが重要です。

新着情報

- 2025.08 [情報モラル指導者セミナー](#) の募集を開始しました
- 2025.03 [情報化社会の新たな問題を考えるための教材](#) に動画を追加しました（教材⑧～⑩）
- 2025.03 [情報モラルの輪を広げようプロジェクト](#) の審査結果・優秀作品を発表しました
- 2025.03 [令和6年度情報モラル教育指導者セミナー第3回・第4回](#) のアーカイブを公開しました
- 2024.11 [令和6年情報モラル教育指導者セミナー第1回・第2回](#) のアーカイブ動画を公開しました



情報モラル教育サイトの掲載内容を知る

The screenshot shows the homepage of the 'Information Moral Education Portal Site'. The header features a large blue banner with the text '情報モラル教育 ポータルサイト' in white. Below the banner are four blue buttons: '学習コンテンツ・啓発資料', '授業実践・活用事例', '教員向け動画コンテンツ', and '情報モラル教育関連サイト'. The main content area is divided into a 3x3 grid of white boxes with rounded corners, each containing a category name and a downward arrow. The categories are: '生成AIを活用する', 'タブレットを初めて使う', 'インターネットを活用する', '情報を発信する', 'オンラインで交流する', '作品を作る', 'マナーを守って使う', 'SNSなどを使う', '情報を確かめる', and 'その他'.

- 学習コンテンツ・啓発資料
- 授業実践・活用事例
- 教員向け動画コンテンツ
- 情報モラル教育関連サイト

- 生成AIを活用する
- タブレットを初めて使う
- インターネットを活用する
- 情報を発信する

- オンラインで交流する
- 作品を作る
- マナーを守って使う
- SNSなどを使う

- 情報を確かめる
- その他

学習コンテンツ・啓発資料を豊富に掲載

学習コンテンツ・啓発資料

授業実践・活用事例

教員向け動画コンテンツ

情報モラル教育関連サイト

生成AIを活用する

タブレットを
初めて使う

インターネット
を活用する

情報を発信する

生成AIを活用する



教材

情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材⑩ 全部正しいの？生成AIって（小学生））

掲載元：文部科学省

フェイクニュースやAIによるディープフェイクも出現している中で、子どもたちがこれらを信じ、扇動され、誤った行動を起こしてしまわないよう、先生がGIGA端末を用いた学習活動を行う際に指導し、子ども自身が学習のために活用できる動画教材を作成しました。

コンテンツ内容：

情報技術の特性（生成AIの仕組み）と「ファクトチェック」について、小学生がイメージしやすいような内容となっています。例えば、どのように情報が抽出されるのか、その情報には誤ったものもあることを理解し、その上で情報の正確さを判断する「ファクトチェック」が大切であることを学びます。



教材

情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材⑩ うっかり入力？個人情報を守るとは～生成AI編～（中高生））

掲載元：文部科学省

フェイクニュースやAIによるディープフェイクも出現している中で、子どもたちがこれらを信じ、扇動され、誤った行動を起こしてしまわないよう、先生がGIGA端末を用いた学習活動を行う際に指導し、子ども自身が学習のために活用できる動画教材を作成しました。

コンテンツ内容：

情報技術の特性（生成AIの仕組み）と個人情報・プライバシーについて、入力する情報や出力された情報をどのように扱うかを学べる内容となっています。例えば、利用規約やプライバシーポリシーをよく読み、入力した情報がどう使われるかを理解すること、出力された情報に誰かの個人情報が含まれていた場合、勝手に使用するとプライバシー侵害等のトヨブリ(ニанс)可能性に注意が必要だとい



教材

情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材⑩ あなたが作るもの「著作権侵害」してない？～生成AI編～（中高生））

掲載元：文部科学省

フェイクニュースやAIによるディープフェイクも出現している中で、子どもたちがこれらを信じ、扇動され、誤った行動を起こしてしまわないよう、先生がGIGA端末を用いた学習活動を行う際に指導し、子ども自身が学習のために活用できる動画教材を作成しました。

コンテンツ内容：

生成AIを活用したイラスト作成を題材とし、生成AIの作成した回答には、他者の権利を侵害する情報もあるという性質を踏まえ、自分で考えながら活用する大切さを考えさせる内容となっています。例えば、マンガや絵、音楽、動画などを、著作権者に無断でコピーしたり、WebサイトやSNSなどにアップロードしたりすることは著作権法で禁止されていること（生成AIで自分が作った」とアホ。結果

（出典）情報モラル教育ポータルサイト

学習コンテンツ・啓発資料を豊富に掲載

生成AIを活用する



教材

情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材⑧ 全部正しいの？生成AIって（小学生））

掲載元：文部科学省

フェイクニュースやAIによるディープフェイクも出現している中で、子どもたちがこれらを信じ、扇動され、誤った行動を起こしてしまわないよう、先生がGIGA端末を用いた学習活動を行う際に指導し、子ども自身が学習のために活用できる動画教材を作成しました。

コンテンツ内容：

情報技術の特性（生成AIの仕組み）と「ファクトチェック」について、小学生がイメージしやすいような内容となっています。例えば、どのように情報が出力されるのか、その情報には誤ったものもあることを理解し、その上で情報の正確さを判断する「ファクトチェック」が大切であることを学びます。



教材

情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材⑨ うっかり入力？個人情報を守るとは～生成AI編～（中高生））

掲載元：文部科学省

フェイクニュースやAIによるディープフェイクも出現している中で、子どもたちがこれらを信じ、扇動され、誤った行動を起こしてしまわないよう、先生がGIGA端末を用いた学習活動を行う際に指導し、子ども自身が学習のために活用できる動画教材を作成しました。

コンテンツ内容：

情報技術の特性（生成AIの仕組み）と個人情報・プライバシーについて、入力する情報や出力された情報をどのように扱うかを学べる内容となっています。例えば、利用規約やプライバシーポリシーをよく読み、入力した情報がどう使われるかを理解すること、出力された情報に誰かの個人情報が含まれていた場合、勝手に使用するとプライバシー侵害等のトラブルになる可能性にも注意が必要だということを学びます。



教材

情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材⑩ あなたが作るもの「著作権侵害」していない？～生成AI編～（中高生））

掲載元：文部科学省

フェイクニュースやAIによるディープフェイクも出現している中で、子どもたちがこれらを信じ、扇動され、誤った行動を起こしてしまわないよう、先生がGIGA端末を用いた学習活動を行う際に指導し、子ども自身が学習のために活用できる動画教材を作成しました。

コンテンツ内容：

生成AIを活用したイラスト作成を題材とし、生成AIの作成した回答には、他者の権利を侵害する情報もあるという性質を踏まえ、自分で考えながら活用する大切さを考えせる内容となっています。例えば、マンガや絵、音楽、動画などを、著作権者に無断でコピーしたり、WebサイトやSNSなどにアップロードしたりすることは著作権法で禁止されていること、生成AIで自分が作ったとしても、結果として既存の著作物に似た画像を生成した場合、著作権侵害として指摘される可能性があることを学びます。

学習コンテンツ・啓発資料を豊富に掲載



生成AIを活用したイラスト作成を題材とした動画

情報モラル学習サイトの掲載内容を知る

文部科学省

情報モラル学習サイト (e-learningコンテンツ)

<https://www.mext.go.jp/moral/index.html#/>

学校のみならず、家庭においても子供たちが情報モラル教育を学べるコンテンツを掲載しています。



情報化社会の新たな問題を考えるための教材

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1416322.htm

教師が指導する際に役立つ児童生徒向けの動画教材（27本）と指導の手引きを作成しています。

子どもたち自身が情報モラルを学ぶコンテンツを掲載



じょうほう がくしゅう 情報モラル学習サイト

～スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな？～

■ 情報モラルとは、みなさんが情報社会の中で上手に生きていくために必要な考え方や態度のことです。

■ このサイトでは、写真やイラスト、動画を見ながら約3つの問題に挑戦することで、情報モラルについて学ぶことができます。

■ 活用場面ごとに、いろいろな問題に挑戦することができます。それぞれ約5分～10分で学習できます。

■ 小学校1年生～高校3年生が対象です。推奨学年にこだわらず、学びたいものを自由に学んでみましょう。



- タブレットを初めて使う
- インターネットを活用する
- 情報を発信する
- オンラインで交流する
- 作品を作る
- マナーを守って使う
- 健康に気を付けて使う
- SNSなどを使う
- 情報を確かめる
- 生成AIを活用する

なにからはじめれば良いかわからないときはコチラ！

おすすめコンテンツ診断

本サイトのコンテンツ一覧表はこちらです。



写真やイラスト、画像を見ながら問題に挑戦



生成AIを活用する

気になる問題に挑戦してみよう！(各コンテンツの学習時間:約5分～10分)

01

生成AIの情報が正しか
いか確かめる

全部正しいの？

生成AI
って

推薦: 小学生

この問題に挑戦! →

02

生成AIに個人情報を
入力するリスクについて
考える

うっかり入力?
個人情報
を守るとは

～生成AI編～

推薦: 中学生・高校生

この問題に挑戦! →

03

生成AIでの著作物の
取扱いについて考える

あなたが作るもの
著作権侵害
してない？

～生成AI編～

推薦: 中学生・高校生

この問題に挑戦! →

04

生成AIを上手に使う

1つの問題で大丈夫?

自分で考える
情報通りとは

～生成AI編～

推薦: 中学生・高校生

この問題に挑戦! →

写真やイラスト、画像を見ながら問題に挑戦

03 生成AIでの著作物の取扱いについて考える

ストーリーを確認した後、3つの問題に回答してください。

アオイさんは、生成AIを使用して文化祭のポスターを作成しようとしているようです。



※生成AIの利用に当たっては年齢制限や
保護者の同意が必要な場合があります。

戻る

問題に進む

写真やイラスト、画像を見ながら問題に挑戦

03 生成AIでの著作物の取扱いについて考える

問題1



イラストに関する著作権について、正しいものはどれですか。
当てはまるものを、1つ選んでください。

① どんな場合でもイラストを自由に利用することはできない

② 著作権を侵害しても、特に罰則はない

③ 学校の授業で使う必要性が認められれば、イラストを使用できる

03 生成AIでの著作物の取扱いについて考える

問題1



イラストに関する著作権について、正しいものはどれですか。
当てはまるものを、1つ選んでください。

① どんな場合でもイラストを自由に利用することはできない

② 著作権を侵害しても、特に罰則はない

③ 学校の授業で使う必要性が認められれば、イラストを使用できる

正解!

正解です。著作権とは、自分が創作した著作物を誰かに勝手にコピーされたり、インターネットなどで利用されない権利のことです。著作権侵害とは、自分が創作した著作物を誰かに勝手にコピーされたり、インターネットなどで利用されない権利のことです。

選択問題

戻る

回答する

写真やイラスト、画像を見ながら問題に挑戦

03 生成AIでの著作物の取扱いについて考える

■ 問題2



生成AIを使ってポスターを作る時、どのような考え方で取り組みますか。
当てはまるものを、全て選んでください。

選択問題

① 自分が生成AIで作ったものは、自分のオリジナル作品だからSNSで公開してよい

② SNSに公開する前に、著作権のある画像やデザインに似ていないか確認する

③ 生成AIのサービスの利用規約を確認する

← 戻る

回答する

→

写真やイラスト、画像を見ながら問題に挑戦

問題3

次の問題は、あなたの考えを深めるための問題です。

あなただったらどう思うか、まずは一人で考えてみましょう。

また、周りに他の人がいる場合は、回答した後で、他の人がどう思ったかもきいてみましょう。

※なお、この問題に正解はありません。



並び替え問題

自分が画像生成AIをつかって、「著作権を侵害してしまいそうだな」と思うときはどんな時ですか？
下のカードを、あなたがやってしまいそうだなと思う順番に、並び替えてください。

侵害してしまいそう

侵害しなさそう

①
自分のSNSのア
イコンをつくっ
て公開する

②
授業で作るスラ
イドにイラスト
を使って、サイ
トで公開する

③
イラストを作っ
て動画共有サイ
トの再生数を増
やそうとする

④
文化祭のポスタ
ーにイラストを
使う

写真やイラスト、画像を見ながら問題に挑戦

生成AIを活用する

気になる問題に挑戦してみよう！(各コンテンツの学習時間:約5分～10分)

3問すべて解答し、結果発表を見ると、スタンプがつく

01 生成AIの情報が正しいか確かめる

全部正しいの？
生成AIって

推薦：小学生

この問題に挑戦！

02 生成AIに個人情報を入力するリスクについて考える

まつかり入力？
個人情報をそぞろとは

～生成AI版～

推薦：中学生・高校生

この問題に挑戦！

03 生成AIでの著作物の取扱いについて考える

あなたが作るもの
著作権侵害してない？

～生成AI版～

推薦：中学生・高校生

この問題に挑戦！

04 生成AIを上手に使う

1つの情報で大丈夫？
自分で答える情報探しとは

～生成AI版～

推薦：中学生・高校生

この問題に挑戦！



情報モラルに関する指導の充実を図る



情報モラル教育 ポータルサイト

授業実践・活用事例

学習コンテンツ・啓発資料

教員向け動画コンテンツ

情報モラル教育関連サイト

タグ検索はこちら >

事例一覧

生成AIの結果をそのまま使ってよいのかな
校種・学年：中学校・高等学校

生成AIにも著作権は関係するのかな
校種・学年：中学校・高等学校

生成AIにどんな情報でも入力してもよいのか
校種・学年：中学校・高等学校

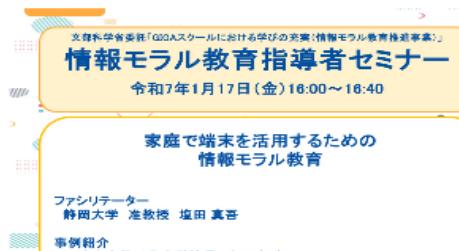
情報モラルに関する指導の充実を図る

学習コンテンツ・啓発資料

授業実践・活用事例

教員向け動画コンテンツ

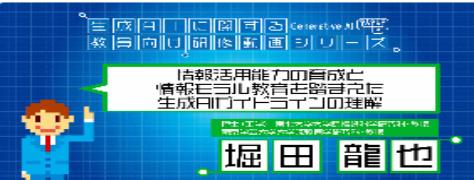
情報モラル教育関連サイト



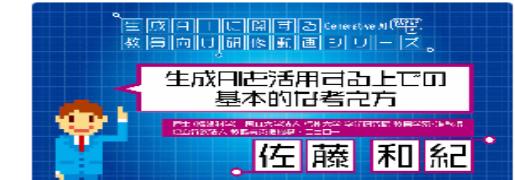
【第4回】家庭で端末を活用するための情報モラル教育

トップページ

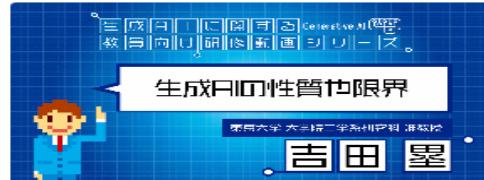
生成AIに関する教員向け研修動画シリーズ



シリーズ①
「情報活用能力の育成と情報モラル教育を踏まえた生成AIガイドラインの理解」



シリーズ②
「生成AIを活用する上で必要な考え方」



シリーズ③
「生成AIの性質や限界」

情報モラルを指導する際に活用を



- ・授業に取り入れることのできる短い動画教材を多数掲載
- ・教材によっては、一部、指導案やワークシートも掲載
児童生徒の実態に合った授業の組み立てが可能

じょうほう がくしゅう 情報モラル学習サイト

～スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな?～

- ・児童生徒が問題を解きながら情報モラルを学べる内容を多数掲載
- ・「情報モラル教育ポータルサイト」の学習動画と問題が連動